

平成31(2019)年度 江戸川区立小岩小学校 学校関係者評価 最終評価用報告書

学校教育目標	○明るく元気な子 ○思いやりのある子 ○よく考える子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○「成長」のある学校、「信頼」のある学校、「使命」のある学校 ○「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をもった児童 ○生きる力を養える教師 保護者・地域を共感させられる教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>新学習指導要領に基づく学習指導の重点化の方向付け、いじめ・不登校に対する組織的対応の充実、組織的学校の運営と働き方改革に基づく取組の充実 <課題>新学習指導要領に基づく学習指導の重点化に基づく具体的手立ての明確化、あいさつや基本的生活習慣の定着のための学校・家庭・地域の連携、主幹教諭や主任教諭を軸とした組織的学校の運営の定着と、働き方改革の一層の推進		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	授業参観、中学教師による出前授業、文化交流の実施	授業公開・授業交流2回実施 文化的交流2回実施	B	B	授業公開・協議会の実施 今後の取組の充実	B	学習や文化活動など今後も小中連携を継続し、9年間の積み重ねを希望する。	児童生徒及び教員の効果的な交流の実施充実
	思考力等の育成(校内研究 授業モデル)	新学習指導要領に基づき、各教科等で思考力等の育成の重視	全学級で思考力等を養う問題解決的な学習の実施	全教員の授業公開実施 全国学力調査 全国平均以上	A	B	全教員 公開授業で問題解決型の指導取組中 全国調査全国との比較→減少 都調査都との比較→向上	B	多様な考えを大事にしてほしい。評価が難しい。評価の方法も明確化してほしい。	校内研究による思考力等の指導法開発・充実
	あいさつの定着(生活スタンダード)	児童自ら進んであいさつができるようにする指導の工夫	学校全体・学年学級によるあいさつ指導の充実	自己評価:AB評価80%以上 保護者アンケート:AB評価80%以上	A	B	自己評価: 取組30%B65%C4%D0% 成果A14%B76%C10%D0%	A	保護者AB86.2% 会社でもあいさつができない人がある。学校・家庭・地域で定着させてほしい。	学校・地域・家庭の連携によるあいさつの推進・定着・充実
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	ICT研修の実施 eライブラリ活用の補習実施	ICT研修年3回 eライブラリ活用の補習年6回	B	B	ICT研修年4回実施 eライブラリ活用の補習3回実施	B	ICTが活用されている。更に子どもの学びにつながるように効果的活用を進めてほしい。	ICT研修の定期的な実施
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	通常級と巡回指導・弱視学級の連携・相互支援	校内研修実施年3回 個別対応会議の実施20回以上 理解教育2回実施	A	B	校内研修実施 年3回実施 個別対応会議の対象全児童実施 理解教育2回実施	B	専門性をもち相互に支援する体制はすばらしい。複数のコーディネーター配置もよい。	個別対応会議と学校相談の一層の充実
	校内研究の充実 授業モデルの開発	※上記「特色ある教育の展開」の2項目と同じ	※同左	※同左	※同左	※同左	※同左	※同左	※同左	※同左
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	補習教室の実施 ベーシックドリル等の指導と検証 コアプランの実施	補習教室 年35回実施 ベーシックドリル正答率10%向上	B	B	自己評価: 取組A29%B67%C5%D0% 成果A14%B76%C10%D0%	B	きめ細かい指導を徹底している。更に個に応じた指導を進めてほしい。	コアプランに基づく基礎基本の定着
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	調べ学習の図書館活用 図書ボランティアを活用した活動	学校図書館活用各学級週1回、図書ボラ読み聞かせ月1回	B	B	人や社会、自然に関わる探求的な学習の実施。問題解決結果をポップ作品として表現。	B	さらに学校図書館を活用した探究型の授業を期待する。	区書科指導指針に基づく指導の充実
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	休み時間体育年35回 竹馬・なわとび等実施	自己評価:AB評価80%以上 保護者アンケート:AB評価80%以上	B	B	取組AB94.4% 成果AB94.4% 全校竹馬活動の実施 体力テスト 50m走低い傾向	B	校舎改築に伴い運動場の制約がある。日常的な体力向上がさらに充実させてほしい。	体力テスト結果の課題種目の重点的強化
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	オリ・パラ教育レガシー創造プランに基づく取組 年35時間	自己評価:AB評価80%以上 保護者アンケート:AB評価80%以上	B	B	田子ノ浦部屋力士やジャイアンツ選手、を招いた教室実施 カヌー・ボッチャ体験学習の実施	B	地域の田子ノ浦部屋力士による相撲教室がよかった。	レガシープランに基づくオリパラ教育の取組充実
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	研修会の実施 ALTとの連携指導の実施	推進リーダー中心に研修会3回実施。ALT打合せ8学級×35回以上実施。	B	B	研修会2回実施。 ALT打合せ119回実施	B	学習指導要領に基づき、さらに指導の充実を図ってほしい。	研修の充実と統一的な指導の実施
相談体制健全育成の充実	基本的生活習慣(生活スタンダード)	「小岩小生活スタンダード」の推進による児童の生活習慣の向上	家庭と連携した基本的生活習慣の徹底	自己評価:AB評価80%以上 保護者アンケート:AB評価80%以上	B	B	自己評価: 取組A26%B65%C9%D0% 成果A9%B87%C4%D0%	B	一層、家庭と協力して取り組んでほしい。	合言葉等による考えさせる指導や保護者連携の充実
	相談体制の充実	個々の保護者と信頼関係を築く工夫や保護者会等で保護者と教員(学校)、保護者同士が連携する工夫	保護者と日々の連携 保護者会等の工夫	自己評価:AB評価80%以上 保護者アンケート:AB評価80%以上	A	A	自己評価: 取組A42%B54%C4%D0% 成果A33%B63%C4%D0% 相談・関わり件数のべ24826件	A	親としていつも相談できることは安心する。学校組織として続けて取り組んでほしい。	学校相談として誰にでも相談できる体制の継続・拡充
	いじめ・不登校等の対応	いじめ・不登校に応じた未然防止と早期対応の充実	個別対応会議、学校相談、迅速な指導の実施	いじめ解消100%達成 不登校児童0名達成	B	B	いじめ解消(誤認等確認含む)108件 不登校対応中3件 個別対応会議20回実施	B	家庭と連携し、迅速な指導を続けてほしい。	いじめ解消100%・不登校児童0の達成
学校運営	組織的学校の運営	主たる担当職務で、起案や推進、調整、報告相談などに取組の充実	効果・効率を考えた学校運営の推進	自己評価:A評価70%以上 学校評議員評価:B以上	A	A	自己評価: 取組A50%B45.83%C4.2%D0% 成果A41.7%B54.2%C4.2%D0%	A	働き方改革や組織的運営が進んでいる。情報共有の方法を一層工夫するとよい。	主任教諭等を中心とした学校運営の推進